



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成28年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ソルクシーズ
 コード番号 4284 URL <http://www.solxyz.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長尾 章
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 金成 宏季
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-6722-5011

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	6,289	15.3	272	△5.3	225	△27.0	99	△16.4
27年12月期第2四半期	5,454	4.9	287	0.3	308	10.0	119	△12.2

(注)包括利益 28年12月期第2四半期 30百万円 (△84.9%) 27年12月期第2四半期 204百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	8.30	8.25
27年12月期第2四半期	11.15	11.03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第2四半期	8,643	4,017	45.4	326.21
27年12月期	8,976	4,041	44.0	328.02

(参考)自己資本 28年12月期第2四半期 3,927百万円 27年12月期 3,949百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,300	8.7	630	6.2	630	3.8	365	21.7	30.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期2Q	13,410,297 株	27年12月期	13,410,297 株
② 期末自己株式数	28年12月期2Q	1,371,504 株	27年12月期	1,371,436 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期2Q	12,038,808 株	27年12月期2Q	10,719,206 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、年明け以降の円高・株安に加え、6月にはBrexitの決定を受けて一段と円高が進行し、先行きの不透明感が増しましたが、全体としては緩やかな回復基調が続きました。

国内IT投資については、金融業界、自動車業界を中心に堅調に推移しており、今後もこの状況は続くものと見られます。

このような環境の中、当社グループの主力ビジネスであるSI/受託開発業務においては、ビジネスパートナーの開拓等により開発リソースの確保に努め、クレジット、証券などの金融業界向けを中心に、順調に売上を拡大する事が出来ました。

ストック型ビジネスにおいては、株式会社イー・アイ・ソルがセンサー技術を応用したIoTソリューション「TUNNEL EYE」をトンネル工事業者向けに開発し、販売を開始した外、同じくIoT分野において、見守りサービス「いまイルモ」の拡販に注力し、名古屋大学実証実験等で一定の成果を上げるなど、ストック型ビジネス全体の事業基盤の強化を進めることが出来ました。

なお、当社株式は平成28年6月23日をもって、昨年12月の東京証券取引所市場第二部への市場変更に続き、同取引所市場第一部銘柄に指定されました。

当第2四半期連結累計期間の連結業績を見てまいりますと、売上高については前年同四半期比15.3%増の6,289百万円となりました。

セグメント別では、主業務であるソフトウェア開発事業の外部顧客への売上高は、証券・クレジット・サービスなど金融業界向けを中心にSI/受託開発業務が増収となった外、グループ会社における自動車教習所向けソリューションサービスの売上増等により、同17.1%増の6,141百万円となりました。デジタルサイネージ事業の外部顧客への売上高は、同29.0%減の148百万円となりました。

損益面では、金融業界向けソフトウェア開発事業、組込み系開発業務などの好調により、売上総利益は同5.8%増の1,182百万円となりましたが、販売費及び一般管理費が今後の業容拡大を睨んだ採用費増、内部体制強化のコスト増等により、同9.6%増の910百万円と増加した結果、営業利益は同5.3%減の272百万円となりました。更に、営業外費用として年初からの円高進行によるデリバティブ評価損50百万円等を計上したため、経常利益は同27.0%減の225百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等調整額を含む法人税等125百万円を控除した結果、同16.4%減の99百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は4,946百万円となり、前連結会計年度末に比べ153百万円減少いたしました。これは主に短期資金を運用していたマネー・マネジメント・ファンド等の償還により有価証券が減少したことによるものであります。固定資産は3,697百万円となり、前連結会計年度末に比べ179百万円減少いたしました。これは主に株式の売却及び時価の下落により投資有価証券が減少したことによるものであります。

この結果、総資産は8,643百万円となり、前連結会計年度末に比べ333百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,494百万円となり、前連結会計年度末に比べ189百万円減少いたしました。これは主に借入金の返済を進めたことにより、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金が増加したことによるものであります。固定負債は2,131百万円となり、前連結会計年度末に比べ119百万円減少いたしました。これは主に流動負債と同様、借入金の返済を進めたことにより長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,626百万円となり、前連結会計年度末に比べ308百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は4,017百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した一方で、剰余金の配当により利益剰余金が減少し、また、時価の下落によりその他有価証券評価差額金が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は45.4%（前連結会計年度末は44.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想の修正はいたしません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上する方法に変更しております。また、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。また、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金に与える影響は軽微であります。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,724,144	1,832,815
受取手形及び売掛金	1,955,485	1,968,572
有価証券	1,002,956	702,912
商品及び製品	27,714	33,223
仕掛品	265,848	258,404
原材料及び貯蔵品	3,555	4,166
その他	120,420	146,293
貸倒引当金	△254	△311
流動資産合計	5,099,870	4,946,076
固定資産		
有形固定資産	544,546	555,736
無形固定資産		
のれん	220,000	209,000
その他	772,049	838,526
無形固定資産合計	992,049	1,047,526
投資その他の資産		
投資有価証券	1,630,836	1,383,139
繰延税金資産	455,778	455,615
その他	253,630	255,383
貸倒引当金	△1	—
投資その他の資産合計	2,340,243	2,094,137
固定資産合計	3,876,839	3,697,401
資産合計	8,976,710	8,643,477

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	547,060	526,941
短期借入金	765,000	722,400
1年内返済予定の長期借入金	599,900	552,568
未払法人税等	119,881	100,263
賞与引当金	—	31,090
その他	652,278	561,434
流動負債合計	2,684,120	2,494,698
固定負債		
長期借入金	576,626	416,762
退職給付に係る負債	1,476,772	1,508,262
役員退職慰労引当金	172,120	183,152
その他	25,582	23,528
固定負債合計	2,251,101	2,131,705
負債合計	4,935,221	4,626,404
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,494,500	1,494,500
資本剰余金	1,699,500	1,699,803
利益剰余金	1,089,107	1,128,881
自己株式	△511,284	△511,319
株主資本合計	3,771,823	3,811,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	218,159	165,529
為替換算調整勘定	1,428	△13,289
退職給付に係る調整累計額	△42,400	△36,894
その他の包括利益累計額合計	177,188	115,345
新株予約権	6,231	6,231
非支配株主持分	86,246	83,631
純資産合計	4,041,488	4,017,073
負債純資産合計	8,976,710	8,643,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	5,454,120	6,289,879
売上原価	4,335,644	5,107,013
売上総利益	1,118,475	1,182,865
販売費及び一般管理費		
役員報酬	172,235	190,614
給料	251,162	241,245
賞与	30,011	39,796
役員賞与引当金繰入額	4,800	—
賞与引当金繰入額	5,130	5,245
役員退職慰労引当金繰入額	10,302	11,032
退職給付費用	16,108	12,819
法定福利費	52,698	57,342
地代家賃	45,010	47,948
支払手数料	49,158	47,379
のれん償却額	354	11,000
その他	193,938	246,090
販売費及び一般管理費合計	830,912	910,513
営業利益	287,562	272,352
営業外収益		
受取利息	34,091	8,450
受取配当金	3,207	5,215
投資事業組合運用益	1,363	554
その他	7,252	7,525
営業外収益合計	45,914	21,745
営業外費用		
支払利息	9,322	8,979
デリバティブ評価損	12,550	50,062
その他	2,635	9,522
営業外費用合計	24,507	68,564
経常利益	308,969	225,533
特別利益		
固定資産売却益	98	—
特別利益合計	98	—
特別損失		
固定資産除却損	4	278
特別損失合計	4	278
税金等調整前四半期純利益	309,064	225,255
法人税、住民税及び事業税	144,172	87,860
法人税等調整額	43,031	37,609
法人税等合計	187,203	125,470
四半期純利益	121,860	99,785
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,318	△183
親会社株主に帰属する四半期純利益	119,542	99,968

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	121,860	99,785
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75,000	△52,630
為替換算調整勘定	231	△21,732
退職給付に係る調整額	7,435	5,505
その他の包括利益合計	82,667	△68,856
四半期包括利益	204,528	30,928
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	202,219	38,126
非支配株主に係る四半期包括利益	2,308	△7,197

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	309,064	225,255
減価償却費	98,263	123,759
のれん償却額	354	11,000
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,302	11,032
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	27,111	40,904
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	4,800	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	30,664	31,090
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,136	56
受取利息及び受取配当金	△37,298	△13,665
支払利息	9,322	8,979
デリバティブ評価損益(△は益)	12,550	50,062
投資事業組合運用損益(△は益)	△1,363	△554
固定資産除却損	4	278
固定資産売却損益(△は益)	△98	—
売上債権の増減額(△は増加)	148,478	△13,086
たな卸資産の増減額(△は増加)	38,591	1,323
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,531	△23,839
未払消費税等の増減額(△は減少)	△69,187	△24,936
その他	△84,389	△77,352
小計	490,501	350,307
利息及び配当金の受取額	37,310	13,041
利息の支払額	△9,551	△8,345
法人税等の支払額	△72,331	△108,102
営業活動によるキャッシュ・フロー	445,928	246,899
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,535	△21,465
有形固定資産の売却による収入	162	—
無形固定資産の取得による支出	△189,311	△177,525
投資有価証券の取得による支出	△774	△56,902
投資有価証券の売却による収入	—	121,518
投資有価証券の償還による収入	400,000	—
投資事業組合からの分配による収入	6,000	3,860
貸付けによる支出	△248	—
貸付金の回収による収入	727	247
会員権の取得による支出	—	△900
その他	10	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	213,029	△131,166
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△82,600	△42,600
長期借入れによる収入	418,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△402,936	△357,196
社債の償還による支出	△20,000	—
自己株式の取得による支出	△187	△34
配当金の支払額	△53,596	△59,900
非支配株主からの払込みによる収入	—	9,000
その他	△2,099	△6,343
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143,419	△307,073
現金及び現金同等物に係る換算差額	241	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	515,779	△191,340
現金及び現金同等物の期首残高	2,069,889	2,676,078
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,585,668	2,484,738

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(平成27年1月1日～平成27年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ソフトウェア 開発事業	デジタルサイネ ージ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,245,646	208,473	5,454,120	—	5,454,120
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,668	—	2,668	△2,668	—
計	5,248,315	208,473	5,456,788	△2,668	5,454,120
セグメント利益又は損失(△)	308,575	△23,681	284,894	2,668	287,562

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去2,668千円であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- II 当第2四半期連結累計期間(平成28年1月1日～平成28年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ソフトウェア 開発事業	デジタルサイネ ージ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,141,819	148,059	6,289,879	—	6,289,879
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,094	—	3,094	△3,094	—
計	6,144,913	148,059	6,292,973	△3,094	6,289,879
セグメント利益又は損失(△)	274,995	△5,737	269,258	3,094	272,352

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去3,094千円であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。